



ジオスペース館だより

★ギリシア神話と日本神話 ～ おもしろ比べ ～

ギリシア神話には、自然や文化に関わる数多くの神が登場し、日本の八百万の神と多くの共通点があります。『ギリシア神話』と『日本神話』は、どんなところが似ているのか、比べてみましょう♪



デメテル(ギリシア) ⇔ アマテラス(日本)



☆ ギリシア神話 <女神デメテル (おとめ座)>



©あさだ考房

春を代表する「おとめ座」は、農業の女神デメテルの姿だと言われています。ある日、女神のかわいい娘ペルセフォネに恋をした、冥界の王ハデスは、娘を自分の国に連れて行き、妻にしてしまいました。それを知った女神は大変悲しみ、地上から身を隠してしまったのです。農業の女神がいなくなった大地は荒れ果て、1年中農作物が育たない冬の季節に。人々は苦しみました。そこで最高神ゼウスは、ハデスに娘を地上へ帰すよう命じます。娘との再会を果たせるようになった女神が、ようやく地下から姿を現すと、大地はみるみる美しい草花に生まれ、再び春がやってきたということです☆

今年、おとめ座の1等星スピカの近くに、太陽系最大の惑星『木星』がとても明るく輝いています。古代の人々は、惑星の王様『木星』とギリシアの最高神ゼウスを関連づけて崇拝してきました。さて、日本神話の最高神といえば、アマテラスですね。アマテラスにまつわる神話には、女神デメテルのお話によく似たものがあります。



おとめ座

☆ 日本神話 <最高神アマテラス (太陽神)>



日本の最高神アマテラスには、スサノオという弟がいました。スサノオが、姉の統治している“高天原”に行った時のことです。アマテラスは、弟が高天原を奪いに来たものと思い、武装して待ち受けていました。その後、身の潔白が証明されたスサノオは、それをいいことに好き放題に暴れ出します。最初は弟をかばっていたアマテラスでしたが、ついに死人が出てしまいました。恐れを抱いたアマテラスが、天の岩屋戸に閉じこもると、高天原と地上は闇に覆われ、様々な災いが起こるようになります。困り果てた八百万の神は、アマノウズメに岩屋戸の前で派手に躍らせ、声を上げて笑いました。外の様子が気になり、岩戸を少し開けたアマテラスが、もう少ししっかり見ようと身を乗り出した瞬間！男神に手をつかまれ、岩戸から引き出されました。こうして、世界に再び太陽が光輝くようになったということです。

☆☆ 5月のプラネタリウムのご案内 ☆☆

平日	15:00~	FROM EARTH TO THE UNIVERSE ~宇宙への旅~
土日祝	10:30~	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2 ~太陽系のひみつ~(字幕付)
	13:30~	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2 ~太陽系のひみつ~
	15:00~	FROM EARTH TO THE UNIVERSE ~宇宙への旅~(字幕付)



☆プラネタリウムの休館日 <5月> 15(月)・17(水)・22(月)・29(月)
<6月> 5(月)・12(月)・19(月)・21(水)・26(月)